

進路だより

北九州市立特別支援学校
北九州中央高等学園 進路支援部
令和5年5月12日(金)
第4号

◆作業学習始まる◆

本校の作業班は、①パン・接遇班 ②事務・軽作業班 ③農耕班 ④清掃・福祉班の4つの班に分かれて作業をしています。1年生は、一年間で4つの班、全ての作業を経験していきます。2, 3年生は、1年間同じ班で、作業学習を行っていきます。各作業班の簡単な紹介をします。



①パン・接遇班の製造部門では、パン作りや焼き菓子作り、喫茶部門では、接遇を主に学んでいます。仕事内容として、釜出し、道具の片付け、パンの袋詰め、レジ打ちなどを行っています。食品関係の仕事なので、衛生面では特に気を付けています。レジでは、暗算が苦手な生徒も電卓を使って、間違えのないように頑張っています。

②事務・軽作業班の事務作業として、タイムカード作り、名刺作り、カレンダー作り、農耕班やパン・接遇班で使用する製品ラベルなどの作成を行っています。軽作業としては、工具の安全な使い方を学び、ボックスの組立や実習先からいただいている製品の解体作業、印刷で使用する用紙の在庫管理として、用紙の数量点検や補充作業を行っています。



③農耕班では、野菜や花の栽培に至るまでの大切な基礎となる土作りから全て手作業で行っています。作業する上で心がけていることは、5S(整理 整頓 清掃 清潔 作法)です。暑い日や寒い日もありますが、天候に負けないように頑張っています。外で作業できないときは、室内で一味唐辛子や味噌などの商品も作っています。

④清掃・福祉班では、就労支援専門家をお招きし、清掃と福祉に分けて作業しています。清掃作業としては、T字モップやダストクロスなどのいろいろな清掃道具を使用して、学校内や近隣の市民センターなどでの清掃を行っています。福祉作業としては、車椅子を使った移動介助やベッドメイキングなどの介護福祉の基礎となることを学んでいます。



「作業学習」は、『働く力をつける』という上で、教育活動内でとても大切な位置づけとなっており、「産業現場等における実習」につながる「働く力」を身につけることができます。また卒業後の就労を自指すうえでも大切な教育活動の位置づけとなっています。

◆進路支援部よい◆

人は、社会の中で他の人と関りながら(社会参加)生きていきます。そして、その社会の中で、できる限りの自立(経済的自立・生活的自立・精神的自立)を目指して、生活していきませんが、時には他の人の手助けが必要とするときもあります。その時に「手伝ってください」「助けてください」「わからないので教えてください」と素直に言えることが大切です。その一言が言える、言えないで、人生が大きく変わることもあります。